

燃やすごみを減らそう！

～ごみを減らしておトクな暮らし～



1 家計の負担を減らす！

分ける・減らす

飯田市では、「燃やすごみ」と「埋立ごみ」に1袋あたり60円（「燃やすごみ小」は30円）のごみ処理費用をご負担いただいています。これは、ごみ処理費用をすべて税金で賄うのではなく、ごみを多く出す方にはより多くのご負担をいただく、という考え方に基づいた制度です。一方、資源ごみ（金属・紙・プラスチック・ペットボトル・ガラスびん）には、手数料負担はありませんので、ごみの減量・分別を徹底して燃やすごみを減らすことで、家計のご負担を減らすことができます。（具体策は後のページで）



稲葉クリーンセンターのごみ搬入の様子



ごみ袋代の値上がりにはごみを減らして対策を！

原油価格の上昇によるごみ袋代の上昇に対し、飯田市ではメーカーに補助金を出して価格の据置きをお願いしてきました。しかし、この補助も6月までで終わりますので、ごみ袋が1枚6円から9円程度値上がりすることが予想されます。ごみを減らし、ごみ袋の使用枚数を減らすことが、値上がり対策になります。

たとえば 燃やすごみ袋(大)を年間60枚使用しているご家庭は…
60袋×1枚9円の上昇 = 年間540円 の負担増ですが、

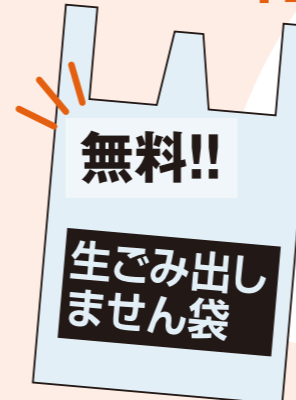
後ほど紹介する生ごみ処理機器の導入で、**3割燃やすごみを減らせば**、ごみ袋の使用も18枚減らせます。18枚減らすと、その分のごみ処理手数料も減るので、
18袋×1枚89円(手数料60円+袋代29円) = 年間1,602円の節約 となります。

※ごみ袋の代金は販売店が決めていますので、ここでは例として値上がり後のごみ袋代を29円として計算しています。



燃やすごみは、処理に費用がかかるため、市民のみなさんと飯田市の行政に多くの負担をかけているほか、焼却による二酸化炭素で、地球温暖化に影響を与えます。燃やすごみを減らすことは、市民の皆さんにとっても、飯田市にとっても、そして地球にとってもよりよい結果をもたらします。燃やすごみを減らして、3者おトクな暮らしを実現しましょう。

「生ごみ出しません袋」を配布します



分別の徹底と生ごみの削減を目的として、「生ごみ出しません袋」の限定生産・無償配布を行います。「生ごみ」は燃やすごみ全体の約4割を占めています。これを減らすと、燃やすごみのとても大きな削減になります。生ごみ処理機の使用開始などで生ごみを出さないよう取り組むことを宣言いただいた、先着1,000世帯（1世帯30枚）に差し上げます。※令和6年8月実施予定です。詳細は改めてお知らせします。（生ごみ減量の具体策も次ページで）



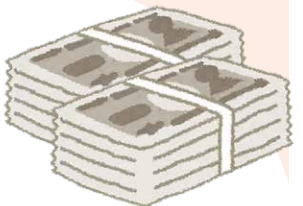
2 市の負担を減らす！

ごみ処理にかかるおカネ

飯田市がごみ焼却のために稲葉クリーンセンターに支払う負担金は、年間約3億2千万円。このうち約2,400万円は、当初の想定よりも増えてしまったごみを処理するために、上乗せして支払っています。ごみ減量によって、この負担を減らすことができ、その分は市民のみなさんのためのほかの施策に使うことができます。また、燃やした後の灰の処理費用も減らすことができます。



稲葉クリーンセンター



3 地球の負担を減らす！

温室効果ガスの排出

日本全体で排出される温室効果ガスのうち、廃棄物処理に係るものが占める割合は約3.3パーセント（令和元年度数値）。

焼却によるものが大半を占めるほか、その収集、運搬などからも温室効果ガスが発生しています。

割合は多くないようですが、温室効果ガスはできることから減らしていきましょう！

